

～持続可能な福祉社会を目指して～

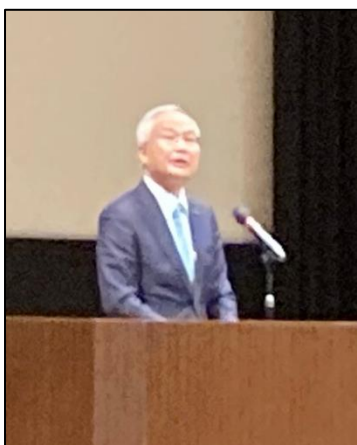
を開催しました

今のまま人口減少が進むと、直方市の人口は10年後には5万人を下回ることが予想されます。福祉に関わる全ての人は、人口減少という転換点を見据えることが必要となってくるでしょう。研修会では、『持続可能な福祉社会を目指して』という大きなテーマを掲げ、各講演を行っていただきました。

令和5年2月10日(金)に、ユメニテイのおがたにて、直方市社会福祉協議会主催、直方市共催で『社会福祉法人役職員研修会』を開催しました。当日は天候の悪い中、349人もの方にご参加いただきました。



開会式での大塚市長のご挨拶では、(仮称)直方市保健福祉センターについてお話がありました。保健福祉事業の拠点として、市民の皆様が、安心して生活し健康維持できる機能を付与し、令和7年度の完成に向け、現在整備を進めているとのことでした。期待にこたえる施設を作る為に、市民の声を反映させ、直方市社会福祉協議会とも連携し、より充実した形で福祉の充実に向け取り組んでいきたいとお話いただきました。



直方市長 大塚進弘 氏



直方市保健福祉センター 完成イメージ

講演会において、第一部では、人口減少の進む中で現状の人口減少がなぜ起き、これからどう対策していけるのかのヒントとなるお話をお聞きしました。第二部では、直轄地域に絞った人口動向や、福祉の制度や民間サービスの現状のお話を聞き、福祉の分野の連携の必要性をより強く感じることでできました。第三部では、社会福祉法人の関係法令について学ぶことができました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



福岡県福祉労働部次長 本田航二 氏



元福岡県知事 麻生渡 氏